

iほふく

通信

管理運営 市原市社会福祉協議会
所在地 〒290-0081
千葉県市原市五井中央西
2-22-4
☎ 0436-20-3100 fax 0436-20-3113
Email VC@ichihara-shakyo.or.jp

市原市市民活動センター

2015.1月号
VOL.35

特集

笑う門には福来る

地域課題に

向き合うとどうなるのか その2



特集

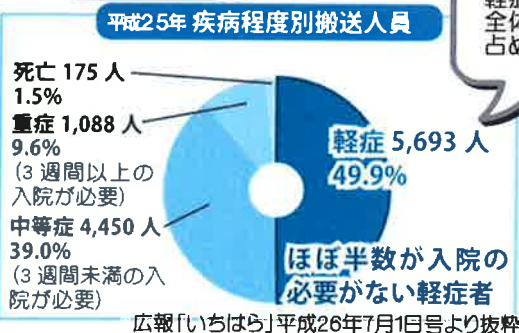
地域課題に向き合うということ その2

皆さんは、病気や怪我などになってしまった場合、病院に受診し、必要があれば入院もできる、緊急の場合は救急車で搬送されることは「当然」だと思いますよね？



しかし、もし近い将来、それが叶わなくなるかもしれないとしたら、あなたは何を思いますか？

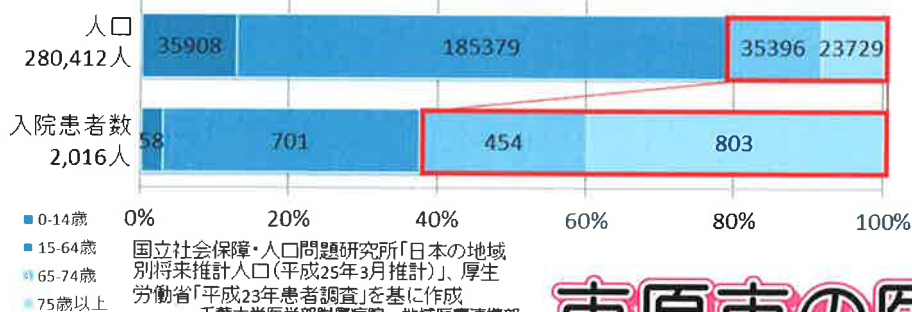
本市の救急搬送の内、入院の必要がない軽症者の搬送率は全体の約半数をも占めています。



10年後の2025年には、市原市内の病床数を越える入院患者が出ると予測されています。

2010年時点(推計)における入院患者の内、65歳以上の年齢の方が占める割合は60%を越えています。今後益々高齢者人口は増えると予測されています。

市原市の人口と入院患者数(2010年・推計値)



市原市の医療に関する実態と将来推計

市原市 入院患者数(推計値)



入院は2010年比1.6倍に

配分済み病床数2050床は2020年以降ほぼ満床になる

千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 准教授 井出 博生氏 作成資料

市原市の医療を守るために一人ひとりができること

市原市地域保健医療協議会では、そうした市原市の現状を住民の皆様にお伝えし、市原市の医療を守るためにはどうしたらいいのかを共に考えて行きたいと、平成24年度から「地域の医療をともに考える」をテーマとしたフォーラムや講座を開催しています。

26年度 「日時・内容」

日にち	内容
8/23(土)	救急医療(五井病院・川越一男氏、市警防救急課・大園雄一氏)
10/19(日)	コミュニティヘルス(東埼玉総合病院・中野智紀氏、NPO元気スタンド・小泉圭司氏)
11/29(土)	医療の現状と将来推計(千葉大学医学部附属病院・井出博生氏)
1/24(土)	医療者と住民の連携(千葉県循環器病センター・平井愛山氏、地域医療を育てる会・柳原三佳氏)
2/21(土)	参加者による討議など

今年度も全5回の「地域医療教室」が開かれており、市民の皆様が参加し、意見交換などを重ねています。



地域医療教室

参加者の想い



参加のきっかけは何ですか？

ある時、家族がいない方の救急搬送に付き添うことがありました。その際、目的の病院へは最短距離でしかも急いで搬送される、また、病院に着いたらすぐに対応されると思っていたらそうではありませんでした。思い描いていたのと現実とは異なることを知り、もっと詳しく知りたいと思ったのがきっかけです。

いさん

「地域リハビリテーション広域支援センター」に勤務しています。同じように「地域医療を上げていくこと」を志しながら事業を行っていること、参加することで直接住民の方の声を聞けると思ったのがきっかけです。

ささん

参加してみて、どのような想いを抱きましたか？

地域の医療に限りがあるのなら、自分達が病気にならないよう努力しなければならないし、地域住民の健康維持のための対策を地域で練らなければならないと思いました。いさん

ワークショップなどで参加者の皆さんの想いが聞けたので、その意見を参考にし、住民の皆様のニーズに対応できる、地域に根差した病院になれるよう努めていきたいと思いました。

ささん



主催者の想い

市原市保健福祉課 担当職員 奥津さん

始めた時は、市原市の救急医療の現状や病院の実態をお伝えし、住民の皆様との溝を埋めたいという想いでした。しかし、ただ「きちんと使って下さい」という啓発や情報提供だけでは今後益々進展する超高齢社会における市原の医療を守れないと思い、地域課題の共有と更には協働実践に結びつくことを願い、住民の皆様や様々な主体と「共に考える」フォーラムや講座等を継続して開催しています。実際開催してみると普段あまり話合うことのない人同士の連携が生まれたり、この講座の企画・運営から携わってくださる方が出たり、地域におけるキーパーソンが見えてくるなど、今後、課題解決に向けた協働実践に繋がるのではないかと期待しています。



何よりも、まず「知る」ということはとても大事なことです。知っただけでは何も変わりません。自分には「何ができるのか」を考え、実際に行動を起こすことこそ、良い方向に「変わる」ことに繋がると思います。

一人一人が健康を意識した生活を心がけること、万が一病気になった時はまず電話相談*などで確認することなど、できることから一緒に始めてみませんか？

*いちほら健康医療相談ダイヤル24 0120-36-2415 (24時間対応) 《2》



活動情報宝箱

募集等情報

近々の市民活動に関する情報および助成金情報を掲載いたします。
(お問合せ・申込は、各情報枠にある問合せ先にご連絡をお願いいたします。)

お知らせ

▶▶ 市民活動センターのロッカーの利用について

市民活動センターでは、利用団体の利便性の向上を図るために、ロッカーの無償貸し出しを行っております。平成27年度の利用をご希望の団体は、申請をお願いいたします。尚、ロッカーを利用するに当たっては市民活動センターへの団体登録が必要となります。

1. 貸出期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日
2. ロッカーの規格 28cm×35cm×41.5cm(幅×奥行×高さ)
3. 利用可能区画 全24区画のうち、原則1団体1区画
* 申込数が区画数を超える場合は抽選となります
4. 申込期間 平成27年2月2日(月)～平成27年3月16日(月)



▶▶ 平成26年度「市民活動センター利用者アンケート」へのご協力について



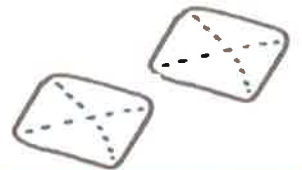
今後の運営の参考にさせていただくために、センターの利用状況についてのアンケートを実施させて頂いております。

下記期間中にセンターを利用される皆様はご協力をお願いいたします。

1. 実施期間 平成27年1月5日(月)～平成27年2月28日(土)
2. 実施方法 窓口にてアンケート用紙をお渡しします
3. 回答方法 窓口においてある回収BOXへ投函してください

▶▶ 雑巾差し上げます！

「明治安田労働組合千葉支部」様より雑巾を寄附していただきました。
雑巾を必要としている団体、施設等ありましたら、市民活動センターまでご連絡ください。



参加募集

姉崎地区限定
ボランティア・市民活動

語らいカフェ 開催

同僚や先輩と語り合っている皆さん！
一緒に語り合いませんか？
まずはお互いを知ることから。
そして、つながり合い素敵な仲間の輪を拓きませんか？
お茶とお菓子を用意してお待ちしています♪

参加費 無料

日時 平成27年1月29日(木)
13時30分～15時

場所 アネッサ ボランティア室

定員 15名 定員に達し次第締め切らせて頂きます

申込期限 平成27年1月26日(月)まで

申込先 市原市市民活動センター
(0436-20-3100 (FAX) 0436-20-3113)
S2 VC@chihara-shakyo.or.jp
※ 申込、電話受付は市原市市民活動センターまで

▶▶ 姉崎地区限定 ボランティア・市民活動 「語らいカフェ」 開催！

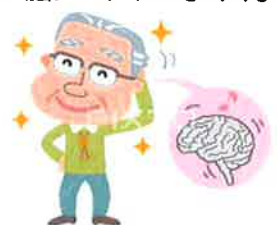
姉崎地区で活動されている皆さん！一緒に地元の活動について語り合いませんか？
まずはお互いを知ることから。
そして、つながり合い素敵な仲間の輪を拓きませんか？
お茶とお菓子を用意してお待ちしています♪

1. 日時 平成27年1月29日(木)13時30分～15時
2. 場所 アネッサ ボランティア室
3. 定員 15名(定員に達し次第締め切らせて頂きます)
4. 申込期限 平成27年1月26日(月)まで
5. 申込先 市民活動センター

▶▶ 「タッチ笑む(エム)で脳の元気度チェックしてみよう会」開催！

タッチエムというソフトを使って脳の元気度がチェックできます！元気度アップの楽しい脳トレタイムもありますよ！
お気軽にお越しください♪お待ちしております☆

1. 日時 1/22(木)13:30～15:30
2/25(水)13:30～15:30
3/20(金)13:30～15:30
2. 場所 市原市市民活動センター
3. 定員 10名(要予約)
4. 問合せ先 ドレミ(笑って脳トレ)
☎ 0436-61-0310



※いちちはらワイワイ広場※ <http://waiwai.genki365.jp/>
市原市市民活動情報WEBサイト 市民活動を応援するホームページです



活動情報宝箱

助成金情報

2015年度「東京ガス環境おうえん基金」助成募集

対象活動 「省エネルギーおよび再生可能エネルギー利用の推進に関する活動」「生物多様性の保全に関する活動」「資源の再利用、廃棄物の削減に関する活動」「環境に配慮したライフスタイルの促進に関する活動」「学校、幼稚園の教育機関への環境教育支援活動」

助成内容 「パワーアップおうえん」 2年以上継続して行ってきた地域に根差した環境活動を、さらに発展・成長させる活動
「スタートアップおうえん」 地域に根差した環境活動の立ち上げや、新しい環境教育プログラムづくり活動

助成金額 (1活動に対して)10万円～100万円

助成期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

応募締切 平成27年1月15日(木)当日消印有効

問合せ先 公益財団法人日本環境協会 東京ガス環境おうえん基金
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F
☎ 03-5643-6262 Eメール ooenkikin@japan.email.ne.jp

* 本件についての詳しい内容は、当基金「募集要項」をご覧ください
募集要項及び申請書類の書式は、当基金のホームページよりダウンロードできます
アドレス: http://www.jeas.or.jp/activ/prom_02_00.html



2015年中央ろうきん助成プログラム

対象分野 (1)ひとづくり 未来をになう子どもや若者たちが、個性豊かに成長し、自立した個人として地域で行う活動など
(2)まちづくり 生活の場としての居住地や商店街などを魅力的な空間とし、自然や歴史を生かした住みよい地域環境をつくる活動など
(3)くらしづくり 地域に生きる人が、さまざまな障害や困難を乗り越えて地域社会に積極的に係わり、定心して自立した生活を実現するための活動など

助成内容 「スタート助成」 1団体 上限30万円 概ね団体設立から5年未満(任意団体期間含む)支出規模500万円未満の団体
及び対象 「ステップアップ助成」 1団体 上限100万円 スタート助成で3年または2年にわたって助成を受けて活動を行った団体

応募締切 平成27年1月15日(木)必着

応募方法 応募書類(所定の書式による)のみ、折りたたまずに、郵便にてお送りください(持込不可)
*「募集要項・応募用紙」はWebサイトからダウンロード <http://www.rokin-ikiiki.com/>

申請窓口 中央ろうきん社会貢献基金(中央労働金庫総合企画部内) 担当:高瀬・笹沼
問合せ先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5
☎ 0120-86-6956(フリーダイヤル)
URL <http://chuo.rokin.com/>

第3回日経ソーシャルイニシアチブ大賞

対象事業 2014年度中に活動実績があり、2015年度以降も事業の継続を予定しているソーシャルビジネスへの取り組みで、次の3つの要件を満たしている事業
1. 社会性 社会的課題の解決を事業のミッションとしている
2. 事業性 ビジネス的手法を用いて継続的に事業活動を進めている
3. 革新性 新しい事業モデルや社会的価値を創出している

募集部門 「国内部門」「国際部門」「企業部門」「東北部門」

表彰内容 「大賞」賞盾、賞金100万円、副賞
「国内部門賞・国際部門賞・東北部門賞・企業部門賞」それぞれ賞盾、賞金50万円、副賞
「新人賞・クリエイティブ賞」それぞれ賞盾、賞金25万円、副賞

応募締切 平成27年1月31日(土)

応募方法 応募書類1と2を電子メールに添付して事務局宛てにお送りください

申請窓口 日経ソーシャルイニシアチブ大賞 事務局
問合せ先 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日本経済新聞社デジタルビジネス局内
アドレス <http://social.nikkei.co.jp/about.html>
* お問い合わせは、ホームページに掲載の電子メール宛てにお願いします



** 市民活動センター **
** プ ロ グ **

市原市市民活動センターで起こったちょっとした出来事や、市民活動に関する情報をライブでお伝えしています

<http://blog.canpan.info/ihot/>



NPO駅伝 第5回

駅伝形式で、市内NPO法人を紹介するコーナーです

特定非営利活動法人 **ICC**

(Ichiharashi Challenged-people Center)

代表 佐藤通安さんに聞きました



財布の値札入れ



キャップの分解



小型家電の分解

●活動を始めたきっかけは何ですか？

当時、障がい者には地域活動に参加しながら就労できる場所がありませんでした。行政に要望したところ、自分でやってみたらどうかと勧められたのがきっかけです。

●現在の活動において特に力を入れていることは何ですか？

体験の場を提供し、繰り返し皆で作業などを行うことにより、障がい者1人1人の気力と忍耐を養い、自信を持って生活することができる、また社会での存在意義が見いだせるよう支援することに力を入れています。

●現在の活動における課題は何ですか？

現在の支援センターからワンランク上の就労継続支援B型を立ち上げたいと思っています。そうすれば、ここに通う人たちの成長の道ができてくる。そして、仲間を増やしていくということと、地域の方々からこの活動への理解が得られ、支援して下さるボランティアさんが増えてくれることが課題です。

設立

平成20年10月31日

主な活動内容

◎地域活動支援センター機能

- ・小型家電の解体
- ・値札の封入
- ・ボトルキャップの解体
- ・手作り品の販売
- ・居場所づくり



手作り雑貨の販売も行っています



場所・問合せ先

〒290-0023 市原市惣社1-1-23

☎ 0436-98-5139

✉ npo.icc.5139@axel.ocn.ne.jp

次回は？ ⇒ 「特定非営利活動法人 市津・ちはら台自然楽校」です！
お楽しみに〜♪

平成26年度ボランティアフォローアップ講座&交流会

つながり得♪みんなが主役の地域づくり～協働によるまちづくりのために～

昨年に引き続き、「協働」をテーマとした講演およびパネルディスカッションを行います。

地域を良くするために一生懸命活動されている皆さん！

次から次へと山積みになる課題にどのように対応していけばいいのか、もっと地域を良くするためにはどうしたらいいのか、これからの地域づくりへのヒントを得られると共に、様々な主体とつながるチャンスです！是非、参加してみませんか？

参加無料

日時 平成27年1月30日(金)

13時開場 13時30分開演

場所 市原市市民会館小ホール

内容

講演

「実践に学ぼう！ これからの地域づくりへのヒント」
～市民協働への扉をひらく～

講師 高崎経済大学 地域政策学部 教授

櫻井 常矢 氏

パネルディスカッション 「地域力を高めるために」

コーディネーター 櫻井 常矢 氏

パネリスト

前千葉県副知事、元新町町会長 石渡哲彦氏

傾聴の会「ひだまり」代表 高橋紀三郎氏

NPO法人いちほら子育て応援団 代表理事 田上聖子氏 《5》



申込期限

平成27年1月28日(水)

申込は

市民活動センターへ

行事予定

平成27年1月20日～3月20日まで



1月

日 時	内 容	場 所	主 催	参加費	問合せ
22日(木) 9:00～12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
22日(木) 13:30～15:30	タッチ笑(エム)で 脳の元気度チェック してみよう会	市民活動センター	ボランティアグループ ドレミ (笑って脳トレ)	無料	61-0310
23日(金) 13:00～16:00	国際相談 (タガログ語・スペイン語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
28日(水) 13:00～16:30	ひきこもり支援事業 わたしの居場所「自由空間」	市民活動センター	NPO法人こころの 相談室いちはら	無料	21-0033
29日(木) 13:30～15:00	ボランティア・市民活動 「語らい カフェ」	アネッサ	ボランティア アドバイザー	無料	20-3100
30日(金) 13:30～17:00	つながって得♪ みんなが主役の地域づくり	市民会館小ホール	「市民活動センター」 「協働のいちはら」 まちづくり会議	無料	20-3100

2月

日 時	内 容	場 所	主 催	参加費	問合せ
6日(金) 13:00～16:00	おもちゃ病院	市民活動センター	おもちゃ病院 いちはら	部品代 は実費	20-3100
12日(木) 9:00～12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
13日(金) 13:00～16:00	国際相談 (タガログ語・スペイン語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
16日(月) 10:00～12:00	子育て支援者交流会	市民活動センター	いちはら子育て応援団 市民活動センター	100円	20-3100
25日(水) 13:30～15:30	タッチ笑(エム)で 脳の元気度チェック してみよう会	市民活動センター	ボランティアグループ ドレミ (笑って脳トレ)	無料	61-0310
25日(水) 13:00～16:30	ひきこもり支援事業 わたしの居場所「自由空間」	市民活動センター	NPO法人こころの 相談室いちはら	無料	21-0033
26日(木) 9:00～12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
27日(金) 13:00～16:00	国際相談 (タガログ語・スペイン語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826

3月

日 時	内 容	場 所	主 催	参加費	問合せ
6日(金) 13:00～16:00	おもちゃ病院	市民活動センター	おもちゃ病院 いちはら	部品代 は実費	20-3100
9日(月) 時間未定	ボランティア・市民活動 「語らい カフェ」	市民活動センター	ボランティア アドバイザー	無料	20-3100
10日(火) 10:00～12:00	子育て支援者交流会	市民活動センター	いちはら子育て応援団 市民活動センター	100円	20-3100
12日(木) 9:00～12:00	国際相談 (ポルトガル語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
13日(金) 13:00～16:00	国際相談 (タガログ語・スペイン語)	市民活動センター	人権・国際交流課	無料	23-9826
20日(金) 13:30～15:30	タッチ笑(エム)で 脳の元気度チェック してみよう会	市民活動センター	ボランティアグループ ドレミ (笑って脳トレ)	無料	61-0310

11～12月新規登録団体紹介

この2か月間での登録はありませんでした

ボランティア・市民活動団体登録状況

平成26年12月末日現在

ボランティアグループ	184団体	4,280人
個人	—	218人
合計	184団体	4,498人

《6》



市原市市民活動センターをご利用下さい！

* 利用日時 *

月曜日～土曜日→午前9時～午後9時、日曜日→午前9時～午後5時

* 利用対象 *

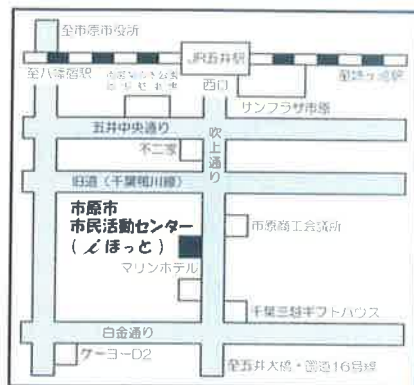
市内で市民活動を行っている(行おうとしている)団体・個人はもちろん、市内に在勤・在学の方で市民活動に伴う会議、研修及び地域福祉を推進するための活動などに利用できます。

※平日・土曜の夜間及び日曜日の利用は、利用日の前月1日までにセンターに申込んでください。

* 貸出施設など *

	貸出等施設及び利用形態
1F	会議室 (20～30名) フリースペース 多目的室A (20名以内)
2F	多目的室B (10名以内) 作業室 コミュニティルーム (80名以内)

市民活動センター案内図



表紙絵紹介

正解者、先着3名様に
粗品をお送りします♪

まだまだ

市民活動センター職員が七福神に！

「笑う門には福来る」

今年も笑顔が絶えない

幸多き一年でありますように☆

誰が何に扮しているかわかります～？

当通信の表紙を飾る絵を書いてくれる方
もしくはデザインして下さる方を募集します

参加型の通信にしたいと思っています

手に取ってみたいと思わせるような「斬新なデザイン」「おもしろい絵」など提供して下さるという方、まずはご連絡ください

* 掲載の際は、作者のお名前も掲載させていただきます



0436-
20-3100



- ・掲載に当たっては、簡単な審査があります。
- ・継続して掲載されるとは限りません。
- ・掲載や使用に関する費用のお支払いはできません。
- ・配布される通信は白黒印刷となります。(ただし、掲示物およびWEB上はカラー)



《7》